

環境報告(要約版)(フォーマット案)

会社名: 東京応化工業株式会社

経営責任者名: 阿久津 郁夫

作成日: 平成 25 年 1 月 15 日

問合せ先: 広報部 044-435-3000(代表)

会社 URL 又は住所: <http://www.tok.co.jp/>

当社の主な環境配慮の状況は、以下のとおりです。

I. 基本的事項

対象組織の範囲 ^(注1)	<input type="checkbox"/> 連結	<input checked="" type="checkbox"/> 単体及び主要な子会社	<input type="checkbox"/> 単体
捕捉率 ^(注2)		(%)	(%)
範囲の変更の有無	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	
対象期間 ^(注3)	平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 30 日		
期間の変更の有無	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	

(注1) 主要な子会社名及び範囲の方針 ()

(注2) 捕捉率の算定基準 ()

(注3) 財務期間との差異 ()

II. 経営責任者の緒言や方針に関する事項

1. 経営責任者の緒言

当社技術力を活かし環境配慮型の製品の開発・販売に取り組んでおり、低炭素社会の構築に向け、社会との共通価値の創造に努め、持続的に成長する企業を目指す。

2. 環境配慮の方針

製品の開発から調達・生産・販売・廃棄に至る全ての過程において環境へ与える影響を自覚し、環境保全及び汚染の防止活動と生産活動を両立させる。

- ①化学物質の安全と環境に配慮した取扱と管理の強化
- ②省エネ・温暖化防止活動の推進
- ③資源の効率的活用、再利用、再資源化活動の推進

III. 重要な環境課題や戦略に関する事項

1. 重要な環境課題

<input type="checkbox"/> 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 資源循環	<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物削減	<input checked="" type="checkbox"/> 水・大気汚染
<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー	<input type="checkbox"/> 水資源利用	<input type="checkbox"/> 天然資源投入	<input checked="" type="checkbox"/> 化学物質管理	<input type="checkbox"/> その他 ^(注4)

(注4)その他の内容 ()

2. 背景情報

(1)収益獲得機会に関する背景情報

化学工業薬品の開発製造を通して、長年にわたって培ってきた豊富なノウハウと技術資源を活用し、様々な分野に独自の加工技術を提供しており、その提供先は半導体、半導体パッケージ、MEMS、液晶ディスプレイ分野のほか、新規事業分野のシリコン貫通電極や太陽電池などにも拡大している。

(2)ビジネスリスクに関する背景情報

化学薬品の製造を企業活動の大きな柱としている当社グループにとって、環境に影響を与える主な要因は、化学薬品を製造する材料調達から製品製造工程や製品使用後に発生する有機溶剤の廃液や製造工程での有機溶剤の廃液や製造工程での有機溶剤の蒸発による大気放出などがある。

3. ビジョン及び戦略

企業の社会的責任を果たすことは、事業活動を行ううえで重要なテーマであることと踏まえ、製品の開発から調達・生産販売や廃棄に至る全ての過程において環境へ与える影響を自覚し、環境保全及び汚染の防止活動とか生産活動を両立させ、中長期目標として2020年度までにエネルギー使用量、産業廃棄物を2009年度比で原油換算10%削減を目標に、省エネにつとめている。

IV. 重要な環境課題に関する当年度の対応状況

重要な環境課題	エネルギー使用量			
当年度における計画及び取組状況	製品製造工程の改善、作業の効率化、設備運転方法の見直しのほか、設備面でも効率化を図り、環境負荷の低減に努めている。			
環境負荷量(総量)	計画 ()	実績 15,135(kL)	<input type="checkbox"/> 第三者審査	中期目標 ^(注5) ()
環境負荷量(原単位)	計画 -1(%)	実績 -1(%)	<input type="checkbox"/> 第三者審査	中期目標 ^(注5) -20(%)
財務影響等				
結果の分析・評価及び次年度における取組				

(注5) 中期目標の年度 (2020 年度)

重要な環境課題	産業廃棄物排出量			
当年度における計画及び取組状況	ゼロエミッションに取り組んでいる。			
環境負荷量(総量)	計画 ()	実績 1,918(t)	<input type="checkbox"/> 第三者審査	中期目標 ^(注5) ()
環境負荷量(原単位)	計画 年率-2(%)	実績 -12(%)	<input type="checkbox"/> 第三者審査	中期目標 ^(注5) -10(%)
財務影響等				
結果の分析・評価及び次年度における取組				

(注5) 中期目標の年度 (2015 年度)

重要な環境課題	特別管理産業廃棄物排出量			
当年度における計画及び取組状況	ゼロエミッションに取り組んでいる。			
環境負荷量(総量)	計画 ()	実績 4,279(t)	<input type="checkbox"/> 第三者審査	中期目標 ^(注5) ()
環境負荷量(原単位)	計画 年率-2(%)	実績 -6(%)	<input type="checkbox"/> 第三者審査	中期目標 ^(注5) -10(%)
財務影響等				
結果の分析・評価及び次年度における取組				

(注5) 中期目標の年度 (2015 年度)

V. 組織体制及びガバナンスの状況

1. 環境経営の組織体制等

環境方針に沿った事業活動を行うため、本部長・室長(経営層)の指示の下、所長・工場長・部署長が環境保全活動を管理・運営する体制を整え、特に環境負荷の多い拠点には「環境委員会」を設け、毎月活動状況を本部長に報告しています。

環境委員会が設置されていない拠点では、部署長が目標達成や維持・管理の活動を行うとともに

に、その状況を定期的に本部長・室長に報告し、必要に応じて本部長・室長が指示する体制として、環境保全への取り組みを推進しています。

http://www.tok.co.jp/company/csr/env-activity/s_management.html (組織図)

2. 環境に関する規制等への遵守状況

過去にも違反をした事はない。

Ⅵ. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況

1. グリーン調達の実施状況

当社グループでは原材料の段階から独自の「TOK 禁止物質リスト」に基づき要求事項を取引先の皆様に伝達するとともに、「不使用証明書や MSDS」などを提出していただき、使用禁止化学物質を含有しないよう徹底している。

2. 製品・商品・サービス等による環境負荷低減

半導体の高集積化・省電力化を実現するシリコン貫通電極(TSV)システム「Zero Newton®」や、クリーンエネルギーの創出に貢献する次世代太陽電池製造プロセスなど、当社独自の技術力を活かして低炭素社会の構築に貢献に向けた製品を提供している。

Ⅶ. その他の事項

(以下については、環境報告書等を参照することも可能です。ただし、環境報告を作成していない場合や当年度に新たな事象の発生や変更があった場合には、該当する事項を記載して下さい。)

1. 組織体制及びガバナンスの状況

(1) 環境監査及び環境教育

規格要求事項と当社システムとの関連についての教育や、環境、安全の意識向上を目的とした「安全リスクの特定方法」に関する説明会を定期的実施。

(2) 災害事故等への対応状況

環境汚染リスクが顕在化した際に、その影響を最小限に食い止めるため、各拠点では有機剤や毒物劇物などの化学薬品漏洩を想定した拡散防止や通報訓練などを定期的実施している。

2. ステークホルダーへの対応状況

ステークホルダーの皆様には経営戦略・業績などの会社情報を適切にご理解いただくため、適時、適正、かつ公平な情報開示の徹底に取り組んでおり、また、こうした取り組みを通じて得られた意見・情報は、経営や事業運営の参考にしている。

3. 社会的取組の状況

<http://www.tok.co.jp/company/csr/com-activity/employees.html>

4. 後発事象

【補足情報】

(以下において、記載をしない項目は削除してください。斜体文字は記載例です。)

(環境負荷量の時系列一覧)

KPI 等	2009 年度	2010 年度	2011 年度	備考
<i>CO2 排出量(総量)</i>	2.85(t)	2.83(t)	2.83(t)	
<i>SOx 排出量(総量)</i>	2.2(t)	2.5(t)	3.3(t)	
BOD 排出量(総量)	0.6(t)	0.4(t)	0.4(t)	

(環境配慮製品の研究開発等)

図等

半導体の高集積化・省電力化を実現するシリコン貫通電極システム「Zero Newton®」。

クリーンエネルギーの創出に貢献する次世代太陽電池製造プロセス。

CSRレポート 2013 P7-10

(環境報告書の関連ページ一覧表)

環境報告書等の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 予定あり ^{注4}	<input type="checkbox"/> なし
-----------	--	---	-----------------------------

(注4) 環境報告書等の策定予定年月 (年 月)

環境報告書等の名称(、URL)

環境報告(要約版)の記載項目	該当 ページ	環境報告(要約版)の記載項目	該当 ページ
I. 基本的事項	1~2	V. 組織体制及びガバナンスの状況	
II. 経営責任者の緒言や方針に関する事項	3~4	1. 環境経営の組織体制等	Web
1. 経営責任者の緒言	3~4	2. 環境に関する規制等への遵守状況	23
2. 環境配慮の方針	3~4	VI. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	
III. 重要な環境課題や戦略に関する事項		1. グリーン調達の実施状況	18
1. 重要な環境課題	21	2. 製品・商品・サービス等による環境負荷低減	7~8
2. 背景情報	21	VII. その他の事項	
3. ビジョン及び戦略	21	1. 組織体制及びガバナンスの状況	11~14
IV. 重要な環境課題に関する当年度の対応状況		(1)環境監査及び環境教育	22
1. 重要な環境課題(気候変動)	28	(2)災害事故等への対応状況	23
2. 重要な環境課題(エネルギー)	27	2. ステークホルダーへの対応状況	
3. 重要な環境課題(産業廃棄物)	29	4. 後発事象	